



川島ホスピタルグループ広報誌
Vol. 6 | 2008

特集1

第53回(社)日本透析医学会
学術集会・総会開催
メインテーマ「未来へ歩む」

特集2

徳島災害時医療支援船
緊急移送訓練

歯科部長就任の挨拶

委員会報告

フェスタ準備委員会

平成20年度事業計画

Photo Gallery

写真で見る川島ホスピタルグループ行事

平成19年度(2007)業績集



医療法人 川島会

●川島病院 ●川島循環器クリニック

医療法人 川島クリニック

●鴨島川島クリニック ●鳴門川島クリニック

社会福祉法人 飛鳥

●ケアハウス ●在宅介護支援センター ●デイサービスセンター ●ヘルパーステーション

川島ホスピタルグループ広報誌 第6号 2008年8月発行 発行/川島ホスピタルグループ

〒770-8548 徳島市北佐古一番町1-39 TEL.088-631-0110 FAX.088-631-5500

編集/川島ホスピタルグループ・広報委員会 川島ホスピタルグループホームページ <http://www.khg.or.jp> 印刷・製本/徳島出版(株)

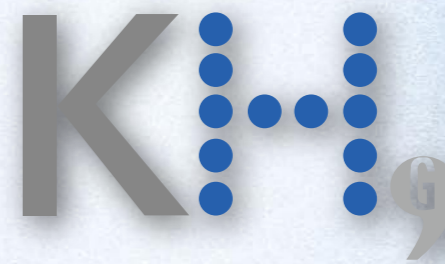
CONTENTS

KAWASHIMA HOSPITAL GROUP MAGAZINE 2008 vol.6

2	特集1	第53回 (社)日本透析医学会 学術集会・総会 ～メインテーマ「未来へ歩む」～ ●会長 水口 潤	
8	ごあいさつ	歯科部長就任の挨拶 文◎板東 高志	
10	事業計画	平成20年度事業計画	
11	委員会報告	健康・福祉フェスタについて 文◎松平 敏秀(総務主任)	
12	特集2	徳島災害時医療支援船 緊急移送訓練(腎不全を中心に) 文◎石原 則幸(川島病院研究企画室長)	
14	Photo Gallery	写真で見る川島ホスピタルグループ行事(2007)	
16	新設課紹介	診療情報課の発展にむけて 文◎原 雅子(診療情報課主任)	
19	業績集	平成19年度(2007)業績集	



■表紙写真・鳴門の渦と大鳴門橋
今年は鳴門海峡と明石海峡が橋でつながって10年の節目になります。神戸・大阪方面からのアクセスが良くなり、鳴門の渦を見物する観光客が多く見られます。渦見物に最適なのは春と秋の大潮の頃だと言われています。早い潮流と鳴門海峡の段差により直径が20mにもなる渦ができては消える様子は迫力満点です。2社が運航する観潮船と大鳴門橋の遊歩道、渦の道で見られます。



ロゴマークの意味

Kawashima Hospital Group

私たちのロゴマークには、3つのキーワードが含まれています。

Kind 優しい

- 患者さんを癒す精神的なケア
- 社会復帰を支援するリハビリ・運動療法

Honest 誠実な

- 正確な知識に基づいた医療
- 24時間サポート体制

Growing 伸びゆく

- 先進の検査・医療機器を完備
- ITを駆使した情報管理

私たちの病院の理念

- 1 患者さんをはじめ、関係する方々との信頼関係を築きます。
- 2 病院経営の質の向上に努め、良質な効率的かつ組織的な医療を提供します。
- 3 地域社会の健康および福祉の増進に貢献することを使命とします。

私たちの病院の基本方針

私たちの病院は

- 1 患者さんや家族の方々との信頼関係に基づいた、患者さんの立場に立った医療を提供します。
- 2 公正な医療の提供と医療の質の向上に努めます。
- 3 腎泌尿器疾患と糖尿病の診断と治療に総合的に携わる病院として地域の皆様に信頼していただけるよう、日々全力を傾注します。
- 4 患者さんに安心して医療を受けていただけるような良質な医療環境医療体制を構築します。
- 5 地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を果たします。

6月19日(前日)

6月20日(1日目)

6月21日(2日目)

6月22日(3日目)

会場設営

神戸国際展示場2~3号館では[特別企画展示][企業展示]のセットの組み立てが行われていた。



前夜祭

企画・実行委員会のメンバー。学会に関連のある方々が集まったの懇親会。



地域プログラム委員の橋本先生(左)・土井俊夫先生(右)・会長 水口院長(中央)



明日からの学会の成功を祈って乾杯。



川島病院スタッフ

阿波踊り



会長のお膝元「徳島」といえば阿波踊り！有名連に負けじと実行委員会のメンバーも連を作って繰り出しました。



見るだけより
おどっちゃおー！

ヨーイヨーイ！

川島周理事長と
はっぴ姿の水口院長

特集1

Special edition

第53回(社)日本透析医学会 学術集会 総会開催

「メインテーマは「未来へ歩む」」

と き 2008年6月20日(金)~22日(日)
と ころ 神戸コンベンションセンターにて

川島病院のスタッフもプログラム編集の段階からかわり演題発表や座長をとめるだけでなく、運営のお手伝いに参加し、貴重な体験をすることができました。



(医)川島会 川島病院院長
会長 水口 潤

が、末期腎不全治療を始めるときにしっかりとインフォームドコンセントがなされていないと思われま。例えば腹膜透析に関していえば、透析患者さんにアンケート調査を行いまず、本治療法の説明を受けたい方は半分にも満たないということがわかりました。治療法の選択は患者さんの自由ですが、我々としては各治療法

日本の透析医学・医療はこの40年間で著しい発展を遂げ、その治療成績は国際的にみても最高のレベルに達しているということが出来ます。しかし日本は世界一の透析人口比率を有しながら、欧米の国々と比較し血液透析患者に集中しているということがあり、腹膜透析や移植を受ける患者数が極端に少ないというアンバランスな状況があります。

患者さんの中には、腹膜透析や移植を希望されている方も少なくないと思われま。に關するしっかりと説明責任があると考えています。すなわちバランスのとれた腎不全医療を行うには腎不全となった患者さんに対して、血液透析・腹膜透析・腎移植という3つの治療法の選択のチャンスを与えるられることがまず重要であり、そのためには各治療法についての正しい知識を得るための教育プログラムや説明用のパンフレット等が必要であります。



(医)川島会副院長
企画・実行委員会 事務局長
土田 健司

第53回(社)日本透析医学会 学術集会・総会を開催して

今回は第53回(社)日本透析医学会学術集会・総会の事務局として学会に携わりました。水口潤会長がこの大会を開催する

治療法を選択した場合でも、患者さんの望む治療を適切に提供できるよう、中核病院を中心としたネットワークづくりが必要であります。そのためには個人の努力に頼るだけではなく、日本透析医学会、日本腎臓学会、日本移植学会、日本腹膜透析研究会の協調によるシステム作りが必要と考えます。今回のメインテーマには、こうした課題への対応などを通じて末期腎不全の医療環境を未来に向かつてよりよいものにしていきたいといった意図を込めました。

にあたり、私の使命は学会を円滑にかつ事故なく運営し、会長の想いを形にすることに。まず大切なことは主要プログラムの決定であり、徳島(四国地区)の先生方による地域プログラム委員会、ならびに全国プログラム委員会での会長の想いを実現させるべく段取りを行い、大会の1年前には大筋を決定しておりました。また、徳島にいなが神戸での大会ということもあり、毎月最低1回は神戸の事務局に赴き、運営や進行状況の把握のためのミーティングを行いました。

実際には迷惑メールと戦いながら毎日100通以上のメールをこなし、各担当者と連絡しながら調節、まとめていった感じですが、ただ、今回の学会スタッフも49回の大会と同じスタッフであったため、非常に順調に事が運びました。

それにしてもこの学会は大きいです。まあこの学会に3度も首を突っ込んだというのが正直な気持ちです。ただ、今回、川島病院スタッフ、全国の先生方、四国の先生方に協力していただき、楽しくできたことが収穫だったと思います。皆さんが明るく楽しく未来に歩むことができれば最高です。

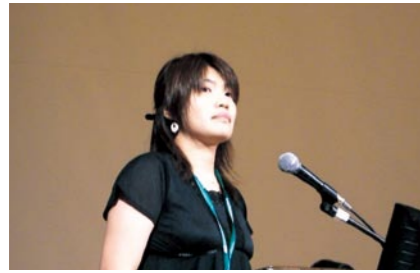
6月19日(前日)

6月20日(1日目)

6月21日(2日目)

6月22日(3日目)

口演



動脈硬化/フットケア
外来血液透析患者の下肢チェック実態調査
◎楠本昌子 看護師



看護体制/クリティカルパス
◎大下千鶴 看護副部長(座長)



シンポジウム5
サイトカイン活性化からみたon-line HDFの可能性
◎中村雅将 医師(シンポジスト) (写真中央)



危機管理体制/医療事故防止
重大医療事故のシミュレーションについて
◎萩原雄一 臨床工学技士



透析液清浄化
◎英理香 臨床工学技士(座長) (写真左)



透析回路/その他
◎新納誠司 臨床工学技士(座長)



急に座長を頼むと言われた...
ちょっとあせっている



夜は、みなさんおつかれさま。

特別イベント「阿波踊り-阿呆連」

企業展示場内から神戸国際会議場前イベントスペースにかけてダイナミックなフォーメーションもみられ大盛況でした



阿呆連のみなさん、ありがとう。



徳島物産販売も開催されました。

口演

発表したり、座長をしたり、裏方したり、記念にパチリ!



開会のあいさつ



準備万端とどって来場者を静かに待つ...



会場スタッフのミーティング



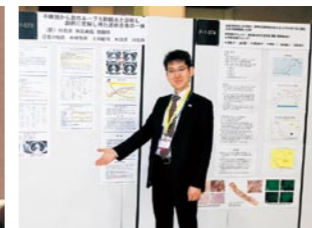
PC最終チェック?



ホッと一息。明日も頑張ろう!!



スタッフ教育
◎南幸 看護副部長(座長)



膠原病
不明熱から急性ループス肺炎と診断し劇的に寛解し得た透析患者の一例
◎吉川和寛 医師



教育講演4
糖尿病透析患者の血糖管理
◎島健二 名誉院長



血液疾患
◎水口隆 鴨島川島クリニック院長(座長)



看護/高齢者透析
経腸栄養摂取透析患者に食物繊維は有効か〜寝たきり高齢者の排便コントロールに及ぼす効果〜
◎数藤康代 看護師



動脈硬化/インターベンション、外科的/幹細胞移植
◎深田義夫 医師(座長)



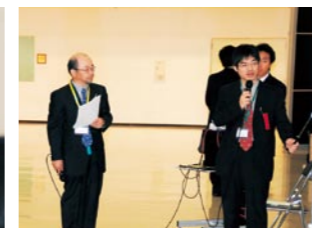
動脈硬化/インターベンション、外科的/幹細胞移植
慢性透析患者におけるカテーテル穿刺部(大腿動脈)合併症の検討
◎多田浩章 臨床検査技士



至適透析(Kt/V,体重管理)/AFBアルブミン漏出膜が栄養に与える影響
◎廣瀬大輔 臨床工学技士



透析膜/性能評価
◎田尾知浩 臨床工学技士長(座長)



胃・肝・胆
◎林郁郎 鴨門川島クリニック院長(座長)



血液浄化法/吸着法
β2-ミクログロブリン吸着器リクセル®S-25の臨床評価
◎森浩章 臨床工学技士



救護班
◎一森先生(徳島赤十字病院)
◎水口隆 鴨島川島クリニック院長

6月19日(前日)

6月20日(1日目)

6月21日(2日目)

6月22日(3日目)

6月19日(前日)

6月20日(1日目)

6月21日(2日目)

6月22日(3日目)

口演



二次性副甲状腺機能亢進症/ガイドライン
血液透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン発表前後での影響
◎志内敏郎 薬剤師



食品投与の効果
外来血液透析(HD)患者の便通異常対策としてサプリメント(GFO)摂取の有用性・安全性の検討
◎松浦香織 栄養士



機器/モニタリング
◎細谷陽子 臨床工学技士(座長)



透析膜/性能評価
◎道脇宏行 臨床工学技士(座長) (写真中央)



HDF, HF/物質除去特性
後希釈HDFにおける溶質除去能の変化～濾過量に伴う変化について～
◎野崎麻子 臨床工学技士



看護/透析導入期
日常生活活動レベルを維持する透析導入
◎笹田真紀 看護師

学会を終えての感想を一言お願いしました。

- はじめての座長・運営手伝いと、いつもと違った視点で大会をみることで、いい経験になりました。(細谷臨床工学技士)
- 「川島病院」の看板を背負っているという、荘厳な気持ちになりました。(吉川医師)
- フロアの熱い討論に圧倒されそうになりました。(田尾臨床工学技士長)
- 看護の充実の為スキルアップを目指し日々学習する内容や、患者教育に工夫している発表が多く感心しました。看護は現場の学習だけでなく他施設の援助を知ることで視野を拡げて観ることが出来ると思います。今回の学会は大変充実した学びの場となりました。(楢山祐子看護師)

[おわりに]

広報誌で透析医学会を記事にすることになり、はじめて本学会にビジターとして参加させていただきました。今回は会長を川島病院の水口潤院長がつとめ、事務局長に土田副院長、その他当院のスタッフ

がプログラム編集委員として、一年以上前から準備の一端を担っておりまして。スタッフのひとりひとりが、日常業務の合間につとつと自分のつとめに取り組む姿を部外者として垣間見ながら、それらの努力がどんなふうに見えるのか、本番当日の様子をこの目で見たいとずっと思っておりました。

行ってびっくり、まず人の多いこと!日本最大級参加人数15000~20000人というすさまじさ、熱気あふれる会場で、「こんな大きなイベントを特集するのは簡単なことではないなあ」と、とてとてもあせってしまいました。結局、ありのままに、みなさんの口演や展示の写真を中心にまとめましたが、少しでもあの雰囲気が伝わればと思います。

また記事にするにあたり、写真撮影など、ご協力いただきありがとうございました。(広報委員会:日下)



特別パネルディスカッション「未来へ歩む」

水口潤会長と北九州バイオフィジックス研究所、金成泰先生が司会を務め、これまで共に学会活動に携わってきた本分野のエキスパートの先生方にプレゼンテーションをしていただきディスカッションが行われました。



血液浄化の本流が何を成し遂げたかの実状、得られた知見や成果は医学的にどのような意義があるか、そして今後の血液浄化の研究課題と治療戦略の方向性について検討がなされました。

[パネリスト]

- 武本 佳昭/大阪市立大学医学部附属病院 人工腎部透析室
- 友 雅司/大分大学医学部 第二内科
- 山下 明泰/湘南工科大学 工学部マテリアル工学科
- 土田 健司/(医)川島会 川島病院 腎臓科
- 青池 郁夫/向陽メディカルクリニック
- 政金 生人/矢吹病院 内科
- 川西 秀樹/土谷総合病院 人工臓器部

特別パネルディスカッションの宿題報告は非常に難しかったです。

展示会場では

バランスのとれた腎不全医療体制作りを目指し、教育環境とネットワークづくりを訴求する「腎移植と腹膜透析」と、さまざまな自然災害に対応するためのシステムやネットワークなどを紹介する「大規模自然災害と透析医療」を特別展示として企画し、会場の中心で開催されました。

▶▶特別展示



▶▶企業展示



▶▶ポスター展示



人の波...各ブースには人だかりが...

ホットひと息!

市民公開講座 ■6月29日(日)13:00~15:00 ■徳島東急イン 6F「阿波の間」

「メタボリックシンドローム」

- 演者/林晃一(慶應義塾大学)
- 司会/土井俊夫(徳島大学大学院)

「慢性腎臓病~CKD~」

- 演者/両角國男(名古屋第二赤十字病院)
- 司会/水口潤(川島病院)



両角國男



板東 高志 profile

①自己紹介

板東高志です。自己紹介に代えて、「高志」という名前の由来をご紹介します。

祖父の実家が、「徳島県 板野郡 上板町高瀬 高志地区(昔は、高志村と呼ばれていたそうです)」にありました。祖父は、「高い志を持つ」という意味で、「高志」という名前が気に入っていたそうで、孫(すなわち、私)が生まれたら、「高志」と命名するよう言っていたそうです。それで、私の名前は「高志」になりましたが、祖父の思惑どおり、私が「高い志」を持った人間になったかどうかは定かではありません。

②趣味/ごろ寝

③好きな言葉/真理は、人智の及ばないところにある。(私が作った言葉です)

④家族の紹介/妻、長男(中2)、次男(小5)です。

⑤うれしかったこと/日本の国宝「法隆寺」に寄付したこと。

以前、家族旅行で法隆寺に行った時、お寺の改修費用として寄付を募っていました。5000円を寄付すると、改修に用いられる瓦に墨で名前を書けるというものでした。私は、5000円を寄付し、瓦に家族みんなの名前を書きました。この瓦が本当に、お寺の改修に使われるかどうかはわかりませんが、とてもいいことをしたような気分になりました。

⑥悲しかったこと/たくさんありすぎて書けません。

⑦川島病院のイメージ/ある意味、大学みたいなどころ。つまり、いろいろなことが組織化されており、臨床研究にも力を入れているところ。



写真3

は、血圧・心電図のモニターを行い、内科的問題があれば、内科医への相談、共診および早期の対応が可能です。さらに、口腔外科的疾患につきましても、血液検査、手術室での口腔外科手術も施行できる体制です。

③ 私たちの口の中には、細菌(いわゆるバイ菌)がたくさん住んでいます。健康な方では、あまり害はありませんが、高齢の患者さん等、免疫力(抵抗力)が低下した方では、口の中の細菌が肺に入ると、肺炎を引き起こすことがあります。肺炎を引き起こしてしまうと、治療は困難になりますので、予防が大切です。つまり、日頃から口腔ケア(口の中をきれいにすること)を行い、細菌数をできるだけ少なくしておくことが重要です。そのため、まずは入院患者さんを中心として、口腔ケアの必要性を喚起していきます。

は、歯科衛生士の前田と川尻が行います。前田は、沖縄県歯科医師会口腔衛生センター・歯科診療所から、川尻は、徳島大学病院・歯科衛生室から採用いたしました。2名とも、これまでの経験と知識を活かし、活躍が期待されます。

しては、ポータブルの撮影装置を用い(写真1、3)歯科診療台あるいは車椅子に座った状態で撮影を行います。

上で、ベッドサイドで口腔ケアを行います。

② 私は、徳島大学歯学部口腔外科に勤務していたこともあり、当病院で治療中あるいは治療歴のある患者さんについては、当病院の電子カルテによりある程度の病状を把握することができます。また、高血圧や心疾患を持つ患者さんの歯科治療の際には、

糖尿病を有する患者さんはほぼ全員が、歯周炎(いわゆる、歯槽膿漏)に罹患しており、歯を失うと、著しい「生活の質」の低下をきたします。したがって、歯周炎の進行を食い止めるためにも、口腔ケアは重要です。また、逆に、歯周炎を改善させると、血糖値のコントロールが良好になるとの報告もあります。当病院では定期的に「糖尿病教室」が開催されていますが、その際、口腔ケア・歯科治療の必要性につきお話をさせていただきます。



歯科スタッフ



写真1

Greeting 歯科部長就任の挨拶

皆様、はじめまして。
本年(平成20年)4月より、当病院において歯科を担当させていただきます板東と申します。就任の挨拶に代えて、歯科診療室の紹介をさせていただきます。

近年、歯科医療においては、目に見えない歪みが徐々にではありますが、確実に蔓延しているように私は感じています。その誘因として、歯科医療の歴史的背景、歯科診療報酬の問題、社会的評価、歯科医師の個人的資質などが挙げられますが、やはり歯科医師の供給過剰も考えられるところだと思います。しかし、歯科医師の数が多すぎるのであれば、すべての国民が十分な歯科医療を受けているはずですが、現実はその通りではありません。

その典型的な例が、さまざまな病気のため、長期間入院あるいは通院されている患者さんに対する歯科治療です。このような患者さんたちは、以下のような理由で十分な歯科治療が行われていないのではないかと考えられます。

(1) 歯科医院への通院およびアクセスが不便である。

(2) 歯科医院において、患者さんの原疾患(もともとの病気)や全身状態を把握することが困難である。仮に、把握できたとしても、費用の面からも歯科医院では十分な対応を取ることができない。

(3) 患者さんおよびそのご家族の方が、原疾患には関心があっても、口の中のことには関心が低い。

このような状況を踏まえ、当診療室では、右記(1)~(3)に対して以下のような取り組みを行っております。

(1) 廊下、出入り口、診療室内はバリアフリーに設計されています。また、介護タクシー・送迎バスの乗降場所に近いところに歯科診療室があるため、通院患者さんのアクセスには便利です。

診療室には、歯科診療台が3台設置されていますが、その内1台は、車椅子で来院された患者さんが移動しやすい特別な歯科診療台です。また、この部屋には、可動式の歯科用切削器具と吸引装置が設置され、十分なスペースも設けられていますので、車椅子に座ったまま、あるいは、ストレッチャーに寝たままでも、歯科治療が可能です。(写真2)

歯のレントゲン写真(口の中にフィルムを入れて撮影するもの)の撮影につきましては、移動が可能な患者さんは、撮影室で行いますが、移動が困難な患者さんにつきま



写真2

委員会報告

フェスタ準備委員会



健康・福祉フェスタについて

平成10年11月8日に患者さんと地域の方との交流を図る目的で第1回健康・福祉フェスタが盛大に開催され、お陰様で今年で早くも11回目を迎えます。参加数も第1回が約700名（職員含む）であったのが、昨年は約1,000名（職員含む）の参加がありました。ここまで続けてこられたのも理事長はじめ職員の皆さん、健康・福祉フェスタ実行委員の皆さん及び患者さん、地域の皆さんのおかげであり、たいへん感謝致しております。また、表舞台は華やかに行われておりますが、事前準備や前日の駐車場の誘導など裏方でお世話になっている職員の皆さんにも厚くお礼申し上げます。

この健康・福祉フェスタは毎年6月に実行委員会を立ち上げ、前年度の来場者アンケートや職員の反省点を参考にし、マンネリ化しないようにイベント業者（現在はFM眉山）の方にアドバイスを頂き、片山事務長を中心に内容を決めて行きます。ステージの出し物を何にするか？まんぷくコーナーは何が喜ばれるか？等ポスター・プログラム製作 パザール商品集め フリーマーケット 出店募集 福引き景品用意 お楽しみ抽選会の抽選券及び金券作成 スタッフの役割分担等はこれまで自分達で作ってやってきました。ステージの出し物が決まれば、出演者への依頼や学校への挨拶、道路の使用許可申請、チラシの配布等を行い

ます。まんぷくコーナーでは、何が何食必要か等細かい部分の話しを進めて行きます。その努力の甲斐もあり、健康福祉フェスタは毎年の恒例行事になり北佐古1番町の町内会の方とお会いしても、「今年も健康・福祉フェスタするんでしょ？毎年楽しみにしています。」と声を掛けて頂くことがあります。このような声を聞きますと今まで続けてきて本当によかったと感じます。また、患者さんの中にも毎年たいへん楽しみにして頂いている方がたくさんいらっしゃいます。

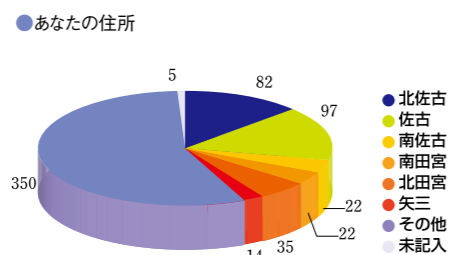
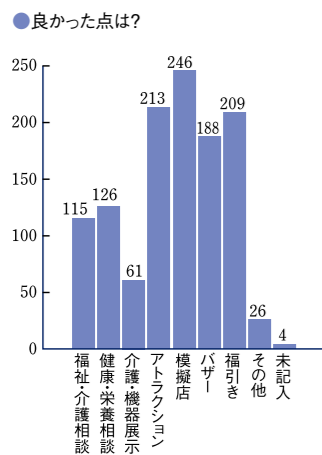


フェスタ準備委員会
総務主任 松平 敏秀



フェスタ準備委員会のメンバー

〈アンケート結果〉



来場者アンケートより

- 健康に関する勉強会も参加させて頂き毎年楽しみにしております。
- 福祉・介護機器等、ていねいに相談のつてくれて助かった。
- アットホームな感じで病気の方、健康な方に関係なく楽しめそうで毎年楽しみにしております。
- 医療だけでなく福祉や介護に対しての積極的な取り組みの様子がよくわかりました。

今後も20回、30回と回を重ねて行きたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

平成20年度事業計画

理念の実現に向けて下記の項目を着実に実行する。

- 1 歯科開設による患者ケアの充実化**
 - ①入院患者の定期的口腔ケアと歯科治療の実施
 - ②外来血液透析患者の定期的口腔ケアと歯科治療の実施
- 2 電子カルテシステムの完成・安定運用**
 - ①電子カルテシステム導入後の円滑な運用
 - ②個人情報保護法令などを視野に入れた適切な情報管理
- 3 レセプトオンライン化**
 - ①診療報酬請求にかかっていた手作業の軽減
 - ②4施設全てにレセプト電算処理システムを導入、円滑な運用
- 4 外来血液透析患者の通院に対する支援**
 - ①外来血液透析患者の通院実態調査の実施
 - ②介護タクシー事業の拡大
- 5 災害対策活動、医療事故防止活動の積極的推進**
 - ①大規模震災を想定しての定期的対応訓練の実行と災害に備えての準備の実施
 - ②各種手順やマニュアルの周知徹底、実行の推進
 - ③対策月間設定等による全職員に対する啓発教育の強化と充実
- 6 教育・研究活動の強化と支援**
 - ①新入職員、中堅職員、途中入職職員への教育内容の充実
 - ②KHGと関連のある分野の全国規模の学会、研究会への積極的参加の奨励と支援
 - ③KHGと関連のある分野の研修会、講演会、セミナーへの参加の奨励
 - ④院内学習会の定期的実施と部署ごとの勉強会、抄読会の頻回実施
 - ⑤部署目標、委員会目標の中間及び年度末フォローによる達成度評価と改善のための指導の実施
 - ⑥部署、委員会における研究および活動テーマ発表会の実施
 - ⑦業務上有用な資格の積極的取得の推進と支援の実施
- 7 地域社会との交流や関連施設との連携の強化**
 - ①第11回健康・福祉フェスタの実施と内容の一層の充実
 - ②広報誌の継続発行と内容の一層の充実
 - ③ホームページの内容充実とタイムリーな更新
 - ④関連病院間や病診連携会議への積極的な参加
- 8 働き甲斐のある職場環境の確保**
 - ①チーム医療の推進
 - ②業務上の成果、努力の人事考課への正当な反映
 - ③職員の職場労働安全衛生対策の推進
 - ④職員に対する福利厚生の実施





【災害訓練スケジュール】

平成20年3月22日(土)

- 10:00 深江丸 海事科学研究所(神戸)出港
- 16:00 深江丸 徳島港沖洲マリンターミナル着岸
- 18:00 深江丸船内にて連絡会議にて訓練の意義の確認(写真1)
懇親会、船舶での宿泊訓練

平成20年3月23日(日)

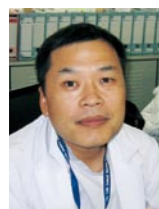
- ※今回は、下記のように送り側と受け入れ側の両者を訓練することとした
- ①徳島での震災を想定した関西地区への患者移送
- ②他の地域での震災を想定した徳島の医療施設への患者受け入れ
- 8:30 参加者沖洲マリンターミナル集合、訓練開始
医師が病院にて1回目のトリアージを行う
(海上移送あるいは空輸すべき患者かの識別)
- 9:00 医師、患者が救急車にて岸壁に到着(写真2)

- (トリアージで船舶移送と判断された患者)
医師が2回目のトリアージを行い(写真3・4)、
患者は船内の場所指定を受け、車椅子(写真5)や
担架(写真6)にて深江丸乗船
海陸連帯支援システムが深江丸に航海計画を伝える
- 9:30 徳島港出発
船内にて医師が患者の状態を確認し(写真7)、
患者ごとに搬送先の病院を決定する
- 10:30 徳島港着(今回は徳島港にて下船訓練も行いました)
医師とスタッフは下船者の確認を行う
医師は岸壁にて3回目のトリアージを行い、収容場所へ移動
災害訓練航海終了



写真2) バトカ-の先導により救急車到着。 写真3) 船へのせていいの医師によるトリアージ 写真4) 医師による救急隊への指示 トリアージ 写真5) 車椅子による搬送 写真6) 担架による船内への搬送(歩きにくかったステップ) 写真7) 船内でも患者の容体を確認

当院参加者のコメント



土田 健司 川島病院副院長

県、消防、警察、病院がネットワークを形成し、訓練が出来た意義は大きい。ただやはり訓練は訓練の域を越えなかったか。今後は実際に近い形での訓練を、徳島だけではなく日本各地で展開していく必要がある。



南 幸 看護副部長

井上先生の「海にも道がある」感動しました。縁の下の力持ち海運だなと感じました。係留中の船で宿泊体験しましたが、熟睡できました。



大下 千鶴 看護副部長

今回波も穏やかで、停泊中の船舶では揺れも少なかったです。通路は狭く天候により搬送も大変だと感じましたが、災害時に船舶が大きな役割を果たしてくれそうで期待しています。



西谷 千代子 看護師師長

患者役で参加しました。船室内の階段が狭くきゅうであったので、担送・護送患者の移送は大変だなと思いました。短時間ではありましたが船酔いしてしまい医療班には無理だなと思いました。

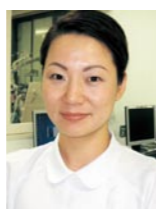
金山 恭子 薬剤師

岸壁でトリアージ後に待っている間細くなっていたところ、スタッフの方に声を掛けられて安心したのを覚えています。訓練に参加して貴重な体験が出来ました。また、日頃から防災に対する心構えや準備が必要だと思いました。今後も様々な想定の実地訓練に参加して防災意識を高めていきたいです。



小倉 加代子 看護師主任

車椅子の患者役で参加させていただきました。当日は強風でとても寒かったです。神戸の震災はもっと寒い真冬だったと思い、本当に震災の恐ろしさを想像することが出来ました。訓練でシナリオがある中でもバタバタしたり、自分で動けないもどかしさ、不安を体験できても有意義に思えました。お世話になりました。



数藤 康代 看護師主任

治療を受ける目的で港まで搬送されたのに、トリアージの結果船に乗せてもらえない重傷患者役として参加しました。港に5人が並んで横たわりトリアージを順に受けていく時、いつもしている側に自分があることしか考えていなかったが、そうじゃないのかもと思いました。船の説明を丁寧にしてくださいました。海図にとっても興味がわきました。貴重な体験でした。



新田 ヤス子 看護師

院内の災害訓練は毎年実施されていますが、今回船舶移送訓練に初めて参加しました。トリアージ使用による避難訓練を行い、災害に関する意識が高まりよい体験が出来たと思います。今後は災害を具体的にイメージして行動することが重要だと感じました。



田尾 知浩 臨床工学技士長

貴重な体験を今後活かせるようにしたい。

この訓練を通じて、医療技術者とそれ以外の関係者との意思疎通を的確に図ることの必要性を認識するとともに、関係者間ネットワーク構築を確認できました。

訓練はマリニピア沖州コンテナ埠頭東隣岸壁で、深江丸船内でのミーティング、乗船搬送における重症患者を想定した現地でのトリアージを実施し、海上搬送を行いました。

1995年の阪神大震災が発生から10年以上を経過したが、その時の恐怖と喪失感、虚しさや忘れることは出来ません。その折、医療関係者の出来たこと、出来なかったことに思いを巡らしながらその経験を生かすべく「患者の船での移送」を試みました。

平成20年3月22、23日にこれらの経験を踏まえて、災害時の被害者、特に透析患者を透析可能な地域に患者を搬送すること、必要となるトリアージ、災害地域内外とのネットワーク構築を目的に訓練を企画し実施しました。参加病院は徳島大学病院、立中央病院、徳島赤十字病院、川島病院、麻植協同病院と関連施設、協力機関は徳島県庁、警察、消防の協力を得て行われました。

参加者の感想は以下の通りでした。

一般参加者は各自全体の流れが把握しづらく、ただ流されてしまった感想を持った。トリアージ判定に医師の真剣さと重圧を垣間見ることができた。

重傷者の担架や車いすでの乗船に手間取り、実際には相当困難な状況となることが想定でき、実際には何か方策を練っておく必要を感じた。

災害時地上は道路が混乱し十分な交通量が確保出来ないことを考えると「海の道」の船による搬送の有効性と可能性を確認出来たのは良かった。



写真1) 1日目、船内にて行われた会議の様子。

◎川島病院研究企画室長 石原則幸

徳島災害時医療支援船
緊急移送訓練(腎不全を中心に)

2007 Photo Gallery

写真で見る川島ホスピタルグループ行事 ● 2007



▶ 1) 新入職員オリエンテーション: 電子カルテ操作指導の様子 2) 穿刺の指導を受けています。3) 歓迎迎会の新入職員の自己紹介の様子です。
 ▶ 4) たくさんの世界遺産を観光してきました。5) 今年の慰安旅行は台湾でした。
 ▶ 6) 地引網は毎年暑い中ですが、大盛り上がりです。7) 今年も晴天に恵まれました。8) いっぱい、魚がとれたよ!
 ▶ 9) たくさんの方が健康福祉フェスタに来てくださいました。10) 様々な催しがあり阿波踊りは今年もきれいでした。11) 作りたてほやほやです。売れ行きも上々でした。12) 入院患者様も毎年楽しみにしています。13) 院内で健康相談も行っています。14) くじ引きの1等は自転車でした。よかったね。
 ▶ 15) 糖尿病教室では実際に食事を用意して説明もを行っています。
 ▶ 16) 中堅研修では講師を招いての接遇マナー講習がありました。17) 就職ガイダンスがアスティで行われました。18) 新入職員入社6ヶ月の勉強会の様子です。19) ケアハウス飛鳥で入所者の方へハビリ指導を行っています。
 ▶ 20) あすか保育園でのハロウィン。21) 忘年会のゴスペルの様子です。22) 部署ごとの仮装ショー、「川島IKKO」です。23) 新年会ではKHGとご縁のあるバンドの演奏もありました。

[2007年度主な行事]
 ● 新入職員オリエンテーション
 ● 歓迎会 ● 慰安旅行 ● 地引網
 ● 2007.10 新入職員6ヶ月研修
 ● 健康・福祉フェスタ ● 忘年会 ● 新年会

複雑化、多様化する医療に対応するため、診療情報課を開設しました。

診療情報課の発展にむけて

当診療情報課は、本年4月に開設されたばかりのまだ新しい課です。主に、診療情報管理業務、電子カルテの管理(メンテナンス障害対応)、クラーク業務及び特定健診の請求をしております。

診療情報管理業務は、診療情報管理士が主となって行われます。主な業務は、診療録等の管理及び入院患者の疾病別統計の作成、病院収支総括表の作成、管理職に必要なデータの集約・保管管理、診療録の開示対応などです。

その他にも、当課にて本年4月に始まりました特定健診の担当もしております。

電子カルテの管理とは、各部署からの様々な問い合わせ(電子カルテの障害やパソコンの配線について)に対応することです。また、透析室担当があり透析室業務の補助やその他、病院のホームページの更新管理や特定健診の請求を担当しております。日々コードレスが鳴り呼ばれておりますが、いつも明るく笑顔で対応しております。また、職員のパソコン操作の向上に向けて毎月勉強会を開催しております。

クラーク業務とは、川島病院と循環器クリニックの各部署(外来・透析室・病棟)に配置されたクラークが、主に先生方の診療がスムーズに行えるよう医師の補佐、また各現場での看護師業務がスムーズに行えるよう事務的な補助作業をします。クラークはいつも明るくやさしい笑顔をモットーに、少しでも先生方や各現場で役にたてるよう頑張っております。

当診療情報課は、それぞれに担当業務が異なりますが、現在この課で一丸となつて行っているのは、紙カルテの初診時の病歴及び要約等の電子カルテへの移行、入力です。それに際しては、電子カルテ担当者がスムーズな入力方法を提案したり、また、共に入力をしたりと、力を合わせて取り組んでおります。そして、もちろん診療情報課として全員で行う業務もありますので、今後も全員で力を合わせてお互いにサポートし合える関係を築き、業務に励んでいきたいと思っております。そして、少しでも病院の発展に貢献したいと思っております。

まだまだ、未熟な診療情報課ですが、皆様のご支援ご協力の基に、当課を発展させ

て行きたいと思っております。宜しくお願
い致します。

◎診療情報課主任 原 雅子



原 主任



診療情報課スタッフ

川島病院 (2008年7月1日現在)

- 標榜科目/内科、腎臓内科(人工透析・腎移植)、糖尿病内科、泌尿器科(人工透析・腎移植)、循環器外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科
- 指 定/生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関(更生医療指定)
- 届出事項/一般入院基本料 10対1
生体腎移植術、同種死体腎移植術、手術の通側及び手術の届出:尿道形成手術等・同種死体腎移植術等、褥瘡患者管理加算、療養環境加算66床、薬剤管理指導料、無菌製剤処理加算、単純CT撮影及び単純MRI、エタノール局所注入(甲状腺・副甲状腺)、対外衝撃波腎・尿管結石破碎術、体外衝撃波胆石破碎術、栄養管理実施加算、麻酔管理料、画像診断管理加算2、運動器リハビリテーション(I)、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅲ)、医療安全対策加算、検体検査管理加算(I)、医療機器安全管理料1、電子化加算、診療録管理体制加算、歯科治療総合医療管理料、補綴分維持管理料
- 施設認定/(財)日本医療機能評価機構 認定(審査体制区分I Ver.5.0)、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本透析医学会認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本糖尿病学会教育施設
- その他/地域病診連携室 TEL088-631-1511 FAX088-631-1541

川島循環器クリニック (2008年7月1日現在)

- 標榜科目/内科、循環器内科、循環器外科、腎臓内科(人工透析)、放射線科
- 指 定/救急診療所告示、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関(更生医療指定)
- 届出事項/有床診療所入院基本料、医師配置加算、夜間救急体制加算、看護配置加算2、夜間看護配置加算2、救急医療管理加算、大動脈バルーンパンピング法(IABP法)、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、手術の通側及び手術の届出:ペースメーカー移植術・交換術、経皮的冠動脈形成術・ステント留置術、経皮的カテーテル心筋灼灼術、医療安全対策加算、電子化加算、夜間早朝等加算、後期高齢者診療料、後期高齢者退院調整加算、退院調整加算、褥瘡患者管理加算、在宅療養支援診療所、在宅時医学総合管理料、栄養管理実施加算
- 施設認定/日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設

鳴島川島クリニック (2008年7月1日現在)

- 標榜科目/内科、人工透析内科
- 指 定/生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)
- 届出事項/電子化加算

鳴門川島クリニック (2008年7月1日現在)

- 標榜科目/内科、人工透析内科
- 指 定/生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)
- 届出事項/電子化加算

医師・職員取得資格

- 川島 周/日本内科学会認定医、日本透析医学会認定医
- 島 健二/日本内科学会専門医、日本糖尿病学会指導医、日本老年医学会指導医
- 水口 潤/日本内科学会認定医、日本腎臓学会認定指導医・専門医、日本透析医学会指導医・認定専門医
- 西内 健/日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医

- 中村雅将/徳島透析療法研究会世話人
- 田尾知浩/徳島県臨床工学技士会会長
- 浜田久代/徳島県栄養士会病院栄養士協議会役員
- 久米恵司/徳島核医学勉強会世話人会役員、日本核医学技術会中四国部会理事

職員数 注:()内は2007年4月1日現在

- (医)川島会、(医)川島クリニック 常勤職員総数282名(267)
- 常勤医師19名(17) ●歯科医師1名(0) ●非常勤医師47名(47) ●看護師112名(117) ●看護助手35名(34) ●薬剤師11名(10)
 - 管理栄養士6名(5) ●臨床検査技師5名(5) ●放射線技師4名(4) ●臨床工学技士27名(25) ●理学療法士3名(3)
 - 歯科衛生士2名(0) ●医事18名(21名) ●総務10名(12) ●診療情報課12名(0) ●庶務14名(14)
- (社)飛鳥 職員総数42名(40)
- 施設長1名(1) ●所長1名(1) ●管理者3名(3) ●生活相談員2名(2) ●ケアマネージャー3名(3) ●ソーシャルワーカー1名(1)
 - 看護師2名(2) ●管理栄養士1名(1) ●介護職員8名(8) ●事務員3名(2) ●乗務員4名(2) ●訪問介護員13名(13)

◎診療統計等(2007年4月～2008年3月) 注:()内は前年同期

- 外来患者延数/34,706名(35,623)
- 入院患者延数/20,417名(19,231)
- 新入院患者数/川島病院769名(760)、川島循環器クリニック547名(557)…合計1,316名(1,317)
- 血液透析患者数/川島病院 445名(396)、川島循環器クリニック128名(137)、鴨島川島クリニック158名(155)、
鳴門川島クリニック 106名(104)…合計840名(792)(4月18日現在)
- 新規導入数/65名(57)
延べ回数/川島病院66,515回(58,631)、川島循環器クリニック20,368回(22,277)
鴨島川島クリニック23,293回(23,066)、鳴門川島クリニック15,491回(15,916)
…合計 125,667回(119,890)
- 腹膜透析(CAPD)患者数/60名(65)(4月18日現在) 新規導入数 8名(14)
- 腎移植患者数/31名(29)(2007年12月累計/うち1例は2006年12月,1例は2007年11月)
- 主要検査件数/消化器内視鏡 769件(700)、CT 2,698件(2,585)、シャントアンギオ 127件(147)、腎生検 18件(16)
心カテ 152件(173)、RI 709件、うち紹介 400(696うち紹介367)、心エコー 1,582件(1,600)、
その他のエコー 563件(583)
- 手術・処置件数/手術総数 504件(459)、結石破碎延べ 128件(146)、シャントPTA 67件(81)、PTCA 117件(130)、
ペースメーカー植え込み 11件(12)
- 栄養指導件数/2,779件(3,586)
- 糖尿病教室
●平成19年 7月27日 テーマ「お腹が空いた時、何を選ぶ?」参加人数9名
●平成19年11月30日 テーマ「年末年始血糖値を上げない工夫」参加人数17名
●平成20年 3月14日 テーマ「ご飯を減らすだけでは大間違い～毎日のおかず再点検～」参加人数14名
- リハビリ件数/個別9,309件(9,810)、消炎656件(1,027)…合計 9,965件(10,837)
- 社会福祉法人飛鳥利用者数/ケアハウスあすか入居数 延べ573件(577)、デイサービス利用者数 延べ6,353件(5,992)、
ヘルパーステーション利用者数 延べ1,070件(1,124)、
在宅介護支援センター 延べ1,740件(2,554)、介護タクシー利用者 延べ295件(20)

平成19年度 業績集 —— 2007

◎論文・総説等(2007年1月～12月)

- 鳥 健二
「フルクトサミン、グルオアルブミン」臨床検査ガイド2007-2008、文光堂、514、2007
「糖尿病死亡率全国一位よりの脱却を目指して」全日本病院協会雑誌、18、123-130、2007
「糖尿病性末梢神経障害 問診と検査法」ビデオ、2007
- 鳥 健二、南 幸、西谷千代子、浜田久代、佐藤恵美子
「糖尿病患者の透析ケア」Diabetes team Now2007年夏号、3-8、2007
- 水口 潤
「血液透析合併症」腎不全看護seminar report.1-4、2007

- 水口 隆/日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本血液学会専門医、日本医師会認定産業医、
介護支援専門者(ケアマネージャー)
- 林 郁郎/日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本神経学会専門医、日本医師会認定産業医
- 炭谷晴雄/日本泌尿器科学会指導医、日本泌尿器科学会専門医
- 木村建彦/日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医
- 土田健司/日本透析医学会指導医・専門医、日本泌尿器学会指導医・専門医日本アフエレーシス学会認定医
- 深田義夫/日本循環器学会専門医、日本心臓血管外科学会専門医、麻酔標榜医
- 小松まち子/日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会専門医、
日本人間ドック学会認定医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、
人間ドック健診情報管理指導士
- 日下まき/日本放射線学会専門医
- 板東高志/日本口腔外科学会指導医・専門医
- 中村雅将/日本内科学会認定医、日本透析医学会専門医、日本腎臓学会専門医
- 吉川和寛/日本内科学会認定内科医
- 横田 綾/日本皮膚科学会専門医
- 大下千鶴/日本糖尿病療養指導士
- 片山幸代/病院管理士
- 山下敏浩/病院管理士
- 久米恵司/放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
- 猪籠浩司/日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
- 赤澤正義/放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
- 谷 恵理奈/第一種放射線取扱主任者
- 浜田久代/日本糖尿病療養指導士
- 坂井敦子/日本糖尿病療養指導士
- 原 恵子/日本糖尿病療養指導士
- 森 恭子/日本糖尿病療養指導士
- 仲尾和恵/日本糖尿病療養指導士
- 高瀬美樹/介護支援専門者(ケアマネージャー)
- 三宅直美/介護支援専門者(ケアマネージャー)
- 原 雅子/診療情報管理士
- 宮島彰子/診療情報管理士
- 山形篤史/診療情報管理士
- 矢部智子/診療情報管理士
- 辰巳奈月/診療情報管理士
- 志内敏郎/医療安全管理者、第一種衛生管理者
- 空野一葉/第一種衛生管理者
- 医師・職員院外団体等役職
●川島 周/徳島県医師会会長、全日本病院協会常任理事、日本腎臓財団評議員、日本透析医学会理事、徳島大学医学部臨床教授
- 島 健二/徳島大学名誉教授、日本糖尿病学会名誉会員、日本臨床化学会名誉会員、
日本病態栄養学会評議員、徳島県医師会糖尿病対策班班長、徳島県保険者協議会顧問
- 水口 潤/徳島大学医学部臨床教授、日本移植学会評議員、日本透析医学会理事・評議員、
日本腹膜透析研究会副理事長、四国透析療法研究会副会長、徳島透析療法研究会会長、
日本HDF研究会常任幹事、日本アセス研究会幹事、VAIVT研究会幹事、
ハイパフォーマンスメンブレン研究会世話人
- 西内 健/日本心血管インターベンション学会評議員、徳島市医師会心電図判読委員会委員、日本循環器学会四国支部評議員
- 水口 隆/腎とエリスロポエチン研究会評議員幹事
- 林 郁郎/日本循環器学会四国地方評議員
- 炭谷晴雄/日本泌尿器科学会評議員、西日本泌尿器科学会評議員
- 土田健司/日本透析医学会評議員、日本HDF研究会常任幹事、日本アクセス研究会幹事、
日本腹膜透析研究会評議員、日本エンドトキシン研究会世話人、VAIVT研究会幹事、
日本医工学会評議員、大阪市立大学・大学院医学研究科非常勤講師、徳島大学医学部非常勤講師、
徳島透析療法研究会世話人

■第17回日本臨床工学会(愛知)/5月12日

磯田正紀…日本ポール社製37mmクオリティモニター使用経験(口演)●道脇宏行、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

■第50回日本糖尿病学会年次学術集会/5月24日～26日

小松まち子…糖尿病透析患者に対するミチグリニド長期投与の効果と安全性(口演)●川島 周、島 健二

■第90回日本循環器学会中国・四国合同地方会(松山市)/6月8日

八木秀介…抗精神病薬内服中に発症した急性心筋梗塞の1例(口演)●伊勢孝之、木村建彦、西内 健

■第52回日本透析医学会学術集会・総会(大阪)/6月15日～17日

島 健二…Overview-GA,HbA1cの測定法、糖尿病透析患者における血糖管理と予後(口演)

島 健二…糖尿病透析患者の生命予後は改善可能か?(口演)●小松まち子、川原和彦

中村雅将…前希釈HDF療法の有用性～サイトカイン活性化の観点から～(口演)●細谷陽子、広瀬大輔、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

小松まち子…血液透析糖尿病患者の生命予後に関する検討(口演)●南 幸、水口 潤、川島 周、島 健二

楠本昌子…血液透析患者の味覚障害の実態調査～食塩味覚判定用テストペーパーを利用して～(口演)●笠井泰子、曾根田眞須美、島 健二、水口 潤、川島 周

楳山祐子…JMS透析用コンソールGC-110Nを導入して～導入後の意識調査と作業時間・作業内容の比較～(ポスター)

●宮本美鈴、近藤 郁、生田登美、三宅直美、播 一夫、水口 隆

廣瀬大輔…CS-1.6U性能評価(口演)●細谷陽子、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

英 理香…PES-210S α の臨床評価(ポスター)●萩原雄一、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

道脇宏行…透析液清浄化における生菌検査の検討(ポスター)●磯田正紀、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

中條恵子…透析糖尿病患者における血糖コントロール指標としてのグルコアルブミンの評価(口演)

●多田浩章、根本和美、大橋照代、島 健二、水口 潤、川島 周

浜田久代…当院におけるNST活動(口演)●坂井敦子、水口 潤、島 健二、川島 周

坂井敦子…経腸栄養施行中の入院透析患者の栄養状態と栄養剤調整の効果(口演)●浜田久代、水口 潤、島 健二、川島 周

■第16回日本心血管インターベンション学会学術集会(福島)/6月21日

三好友美…心臓カテーテル検査を受ける患者の理解度と不安の関連性について(口演)

●萩原順子、森浦弥生、坂東美絵、松本高子、披田英里、松田幸子、藤井眞理

■第22回心臓血管セミナー(徳島市)/7月14日

木村建彦…右室内血栓をみとめた肺血栓梗塞症の一例(口演)●伊勢孝之、八木秀介、西内 健、岡川和人

■第235回徳島医学会学術集会(徳島市)/8月5日

浜田久代…当院におけるNST活動(口演)●坂井敦子、水口 潤、島 健二、川島 周

■第13回日本HDF研究会(大分)/9月8日

中村雅将…サイトカイン活性化の視点から見た前希釈HDF療法の有効性(口演)

●細谷陽子、廣瀬大輔、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

英 理香…EK膜を用いた血液透析時の臨床症状軽減についての考察(口演)●細谷陽子、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

■第48回全日本病院学会(秋田)/9月22日～23日

坂井敦子…NST立ち上げに向けての取り組みとその成果(口演)

●浜田久代、数藤康代、秋山和美、志内敏郎、水口 潤、島 健二、川島 周

三木めぐみ…病棟急変時対応チームの5年間の歩み(口演)●逢坂香往里、数藤康代、西川雅美、近藤 恵、大下千鶴

■第41回四国透析療法研究会(徳島市)/10月7日

水口 隆…血液透析患者に対する静注用鉄剤の投与方法に関する検討(口演)●重長佐和子、川島 周

磯田正紀…日本ポール社製37mmクオリティモニター使用経験(口演)●山田裕深、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

志内敏郎…血液透析患者の難治性皮膚掻痒に対するZn投与の有効性の検討(口演)

●佐藤知子、金山恭子、水口 隆、水口 潤、川島 周

北條千春…血液透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン発表前後での影響(口演)

●佐藤知子、空野一葉、山川景子、飛田知子、金山恭子、志内敏郎、中村雅将、水口 潤、川島 周

多田浩章…慢性透析患者におけるカテーテル穿刺部合併症(仮性動脈瘤)の検討-血管エコーを利用して-(口演)

●島野 誠、八木秀介、木村建彦、西内 健

■第11回アクセス研究会(千葉)

祖地香織…透析中のバスキュラーアクセスの血行動態についての考察(口演)

●新納誠司、坂尾博伸、露口達也、英 理香、中村雅将、土田健司、林 郁郎、水口 潤、川島 周

■第91回日本循環器学会四国地方会(高知市)/11月10日

伊勢孝之…重症心不全に合併した巨大左室内血栓の1例(口演)●住友由佳、八木秀介、木村建彦、西内健

「透析患者の消化器癌」日本透析医学会専門医試験問題集、265-267、2007

「透析患者の肝癌」日本透析医学会専門医試験問題集、267-268、2007

「透析患者の肺癌」日本透析医学会専門医試験問題集、268-270、2007

「ダイアライザー、フィルターの選択はどのように行うべきか?」2008-2009EBM透析療法、中外医学社、166-169、2007

「透析病院での急性血液浄化法の位置づけ」ICUとCCU、31:25、2007

「腎と透析63別冊アクセス2007」東京医学社、2007

「腎不全の治療選択」日本腎臓学会、日本透析医学会、日本移植学会、2007

■水口 潤、南 幸、永田真美代、平野春美、高井和子

「CASE STUDY こうしています ころのケア」Support Vol.8、5-7、2007

■Takeshi Nishiuchi、Shusuke Yagi、Takehiko Kimura、Ikuro Hayashi、

「Acute coronary syndrome due to hinge movement of a bare-metal stent」International Journal of Cardiology 123(2008) e64-e66

■Takeshi Nishiuchi、Shusuke Yagi、Masashi Akaike、Shuji Ozaki、Chikako Moriya、Kyoko Takeuchi、Tomoko Hara、Mitsunori Fujimura、Yuka Sumitomo、Takashi Iwase、Yasumasa Ikeda、Ken-ichi Aihara、Takehiko Kimura、Masahiko Abe、Toshio Matsumoto

「Improvement of Cardiac Diastolic Function and Prognosis After Autologous Peripheral Blood Stem Cell Transplantation in AL Cardiac Amyloidosis」Internal Medicine 46:1705-1710、2007

■土田健司

「バスキュラーアクセス作成症例」日本透析医学会専門医試験問題解説集(改定第5版)、17、2007

「薬物中毒」日本透析医学会専門医試験問題解説集(改定第5版)、126-130、2007

「平成19年度(2007年)透析専門医セルフトレーニング問題正解と解説について」透析会誌40(10)、2007

「バスキュラーアクセス閉塞の予防と治療はどのようにすべきか? 1.導入前(保存期) 2.透析療法の選択:HD、PDの選択」

EBM血液浄化法、中外医学社、2007

「バスキュラーアクセスの選択・カテーテル挿入:適応、部位、手技、管理注意点」症例に学ぶ透析療法、中外医学社、38-41、2007

「 β -D-グルカン」透析患者の検査値の読み方、日本メディカルセンター、333-335、2007

■土田健司、日本透析医学会統計調査委員会同小委員会

「わが国の慢性透析療法の現況(2005年12月31日現在)」透析会誌40(1)、1-30、2007

■土田健司、武本佳昭、川島 周、水口 潤

「アミロイド骨・関節症の整形外科的治療の現状と課題 手根管症候群に対する外科的治療 特に直視下手根管開放&腱骨膜切除の成績」透析会誌40(3)、226-228、2007

■土田健司

「患者のためのワンポイントアドバイス」腹膜透析入門-これで安心!PDライフ、東京医学社、2007

■小松まち子、日下まき、久米恵司、南幸、水口潤、川島周、島健二

「血液透析中の血糖低下と血清インスリン濃度の関係」日本透析医学会雑誌40、907-912、2007

■小松まち子、水口潤

「イラストでわかる透析室の栄養のハナシ20 低血糖ってどんな状態なの」透析ケア13、34-35、2007

■小松まち子、島健二

「血糖管理 1)指標 新しい糖尿病学と透析医療」日本メディカルセンター、199-202、2007

■木村貞子、南 幸

「私たちの透析看護」Career Nurse No2、14-15、2007

■坂井敦子、水口 潤

「透析食って糖尿病食と全く違うの?根本から変えなければいけないの?」透析ケア1月号、13:32-33、2007

■坂井敦子

「ダメと言わずにアプローチ!食事指導最初の一言」透析ケア冬季増刊、95-121、2007

◎学会・研究会等発表(2007年1月～12月)

■第234回徳島医学会学術集会(徳島)/2月4日

中村雅将…川島ホスピタルグループにおける血液透析の治療成績(口演)●土田健司、水口 潤、川島 周、西内 健、水口 隆、香川和夫

■第22回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会(東京)/3月17日～18日

中村雅将…前希釈HDFと後希釈HDFの炎症性サイトカイン活性化に及ぼす影響(口演)●細谷陽子、廣瀬大輔、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

数藤敬一…ポリメチルメタクリレート(PMMA)膜が腎性貧血に及ぼす影響(口演)●田尾 知浩、土田 健司、水口 潤、川島 周、水口 隆

英 理香…PES-210S α の臨床評価(口演)●細谷陽子、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

「近未来の血液浄化療法を考える」偕行会透析セミナー2007、名古屋、10/21
「バスキュラーアクセスのトラブル対応」第7回岡山透析カンファレンス、岡山、11/6
「血液浄化の方向性」第72回北海道透析療法学会イブニングフォーラム、札幌、11/10

■西内 健
「ライブデモンストレーション」The 16thPCI Live Demonstration Course in Kurashiki、倉敷、2/24
「高血圧とその合併症について」第6回徳島実地医家勉強会、徳島市、7/18
「末梢血管カテーテル治療を施す理由」第5回心臓病ビジュアル市民公開講座、徳島市、11/8

■水口 隆
「透析患者に対する鉄投与の問題点」第5回徳島臨床透析セミナー、徳島市、1/30
「ネスプの使用経験」ネスプ発売記念講演会、徳島市、9/15

■木村建彦
「徳島の現状を踏まえた降圧療法について」BLPエキスパートM、徳島市、2/7
「虚血性心疾患を合併した透析症例」第2回腎と心・血管フォーラム、徳島市、2/15
「各方面から見た心臓イベントの予防策について」BLP地区講演会、徳島市、2/28
「高血圧症、狭心症の治療についての講義・指導」協和発酵工業医薬徳島営業所社内研修、徳島市、3/8
「慢性腎臓病」第4回循環器診診連絡会、徳島市、5/24
「慢性腎臓病と高血圧」脇町CKD談話会、美馬市、6/14
「興味ある胸部CT所見を呈した急性腎障害の一例」第5回循環器診診連絡会、徳島市、11/28

■土田健司
「透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症の治療戦略-特に内科的治療に抵抗する場合-」第6回南大阪透析フォーラム、大阪、1/13
「バスキュラーアクセス管理とトラブル時の対応」第4回徳島臨床工学技士会、徳島市、1/28
「臨床工学技士の現状と期待される役割-みんなに任せた透析医療の質-」第23回日本医工学治療学会、大阪、2/10
「如何にして透析液清浄化を普及するか」第23回日本医工学治療学会、大阪、2/11
「透析患者の虚血性心疾患の管理と予防」第2回腎と心・血管フォーラム、徳島市、2/15
「VAIVTによる長期維持管理のポイント」第12回VAIVT研究会、東京、3/10
「もし、あなたが腎不全になったらPDを選びますか?」CAPDセミナー、広島、4/13
「腹膜透析の保険診療報酬について」徳島腹膜透析支援ネットワーク勉強会、徳島市、5/16
「Economical problem of vascular access management:Japanese perspective」Congress of 5th Vascular Access Society、ワシントン、6/11
「全自動装置を用いた内部濾過促進型血液透析の可能性-全自動装置GC-110Nを用いた内部濾過促進型ダイアライザーAPS-EXの臨床評価-」第52回日本透析医学会学術集会・総会、大阪、6/16
「今後の長期留置型バスキュラーアクセスを考える」第52回日本透析医学会学術集会・総会、大阪、6/16
「これから目指すべき透析とは?~Patients-Friendly 元気で明るい透析ライフを提供するためにEVAL膜は患者のQOL向上に繋がるだろうか?~」第52回日本透析医学会学術集会・総会、大阪、6/17
「HDとHDFの展望」第52回日本透析医学会学術集会・総会、大阪、6/17
「副甲状腺インターベンション治療の考え方」徳島透析療法研究会・学術講演、徳島市、7/12
「全自動装置の活用とこれからの可能性」第13回HDF研究会ランチョンセミナー、大分、9/8
「ISO透析液水質基準:その達成に向けて:透析液清浄化の実際」第13回HDF研究会、大分、9/8
「無菌・無バイロジェン透析液調整システムバリデーション:エンドトキシンカットフィルターの要件と認可に向けた戦略」第16回次世代人工腎研究会、東京、9/29
「緊急を要するVA関連手術~内科及び外科の立場から~」第11回アクセス研究会、千葉、10/12
「日本におけるHDF治療の最前線」第5回北京血液浄化化学術交流会、北京、12/1
「シャント手術の実際~初回AVFとPTAを中心に~」ニプロ勉強会、秋田、12/22

■深田義夫
「糖尿病3次予防者に対するfoot careについて」糖尿病3次予防者講演会、徳島市、3/5
「透析、糖尿病のfoot careについて」中外製薬社内研修会、徳島市、7/20

■小松まち子
「食事療法 食事療法の重要性、健康食品は有効か」医師会生涯教育シリーズ、徳島市、1/16
「糖尿病の話~ちょっと高めの人から要注意~」メタボリックシンドローム退治!シリーズ講演会、阿南市、10/17

■吉川和寛
「透析について」認定調査員等研修会、徳島市、11/21

■南 幸
「災害時における看護師の役割と対応」看護師研修会、徳島市、9/27

■第16回腎とエリスロポエチン研究会(東京)/11月17日
水口 隆…血液透析患者に対する静注用鉄剤の投与方法に関する検討(口演) ●重長佐和子、川島 周

■第38回徳島透析療法研究会(徳島市)/11月18日
薬師神富美…外来血液透析患者の下肢チェック実態調査(口演) ●佐藤恵美子、日根千鶴、南 幸、深田義夫、島 健二
有木直美…当院における透析導入期自己管理指導の検討~患者の理解度調査と再指導の検討~(口演)
●山口ゆかり、西分延代、土田健司、水口 隆
馬瀬さやか…経腸栄養摂取透析患者に植物繊維は有効か~寝たきり高齢者の排便コントロールに及ぼす効果~(口演)
●福原佐和子、数藤康代、土田健司

英 理香…透析施行時におけるバスキュラーアクセスの血行動態についての考察(口演)
●細谷陽子、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周

■第1回日本腎と薬剤研究会学術大会(大阪)/11月24日~25日
志内敏郎…血液透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン発表前後での影響(口演)
●佐藤知子、金山恭子、空野一葉、山川景子、飛田知子、北條千春、中村雅将、水口 潤、川島 周

■第13回日本腹膜透析研究会(広島)/11月25日
小倉加代子…高齢ねたきり入院患者に48時間APDプログラムを実施して(口演)
●西分延代、寿見佳枝、竹内弘実、中村康将、土田健司、水口 潤

◎講演・講義等(2007年1月~12月)

■島 健二
「産業医のための糖尿病と生活習慣病予防」産業医研修会、徳島市、1/18
「健やかに老いるには」徳島大学工業会徳島支部同窓会記念講演、徳島市、2/3
「糖尿病の治療」栄養士のための研修会、三好市、2/20
「糖尿病診療の最近の展開」徳島県知的障害者福祉協会給食部研修会、徳島市、3/5
「血糖のちょっと高かった方へ~ほっておくとたいへんなこととなりますよ~」介護予防事業、阿南市、3/13
「糖尿病」みんなの健康(FM徳島)座談会、徳島市、4/3
「糖尿病」6時10分今日のニュース(NHK徳島)対談、徳島市、4/5
「糖尿病」アステイス社内勉強会、徳島市、4/25
「ホノルルマラソンを走ろう」徳島大学公開講座、徳島市、6/9
「生活習慣病にならないために」岩倉小学校PTA研修会、美馬市、6/14
「14年連続ワースト1・糖尿病の予防と改善」おはようくしま(四国放送)、徳島市、6/27
「糖尿病予防」あわスペシャル(NHK徳島)、徳島市、6/29
「ホノルルマラソンを走ろう」徳島大学公開講座、徳島市、7/7
「徳島県内の糖尿病神経障害の実態」徳島神経障害研究会、徳島市、7/12
「退職後の健康管理~健やかに老いるために~」徳島雇用支援協会、徳島市、8/24
「重症化する糖尿病」四国羅針盤(NHK高松)、高松市、9/14
「糖尿病透析患者の血糖管理」第23回瀬戸内腎不全カンファレンス、高松市、9/28
「健康・医療クラスター創成を目指して~糖尿病死亡率全国ワースト1位脱却に向けた産学官連携の挑戦~」とくま経済飛躍サミット、徳島市、10/12
「健やかに老いるに~生活習慣病に注意~」阿波市老人クラブ連合会研修会、阿波市、11/15
「健やかに老いるに~生活習慣病に注意~」阿波市老人クラブ連合会研修会、阿波市、11/22
「糖尿病予防について」神山健康まつり、神山町、11/23
「ホノルルマラソンを走ろう~事前の注意~」徳島大学公開講座、徳島市、11/24
「糖尿病とメタボリックシンドローム」健康フォーラム、美馬市、11/29
「あなたと運動について考えよう!!」プラス1000歩県民運動キックオフ記念シンポジウム、徳島市、12/1
「健やかに老いるに~生活習慣病に注意~」阿波市老人クラブ 連合会研修会、阿波市、12/6

■水口 潤
「川島病院における透析液浄化と貧血対策」集友会学術講演会、札幌、1/20
「最近の透析医療について ガイドラインに沿った臨床の実際」第4回Urlogy Forum、東京、4/21
「糖尿病患者の貧血について」徳島県腎臓病患者連絡協議会定期総会・講演会、徳島市、5/13
「バスキュラーアクセスのトラブル対策」広島透析アクセス懇話会、広島、8/9
「HDFにおけるポリスルホン膜の有用性について」第13回HDF研究会ランチョンセミナー、大分、9/8
「新たな腎性貧血治療の展望」第13回HDF研究会ランチョンセミナー、大分、9/9
「腎不全の治療」徳島県看護協会吉野川支部研修会、阿波市、10/6

◎治験、学術研究、市販後調査(2007年1月～12月)

■治験

- 川島病院/第Ⅱ相試験 3件、第Ⅲ相試験 7件 ●川島循環器クリニック/第Ⅱ相試験 2件、第Ⅲ相試験 1件
- 鴨島川島クリニック/第Ⅱ相試験 1件、第Ⅲ相試験 2件

■市販後調査

- 川島病院 10件 ●川島循環器クリニック 3件

■疫学調査

- 川島病院 1件

◎医師一覧、責任者一覧(2008年4月1日現在)

■医療法人川島会・医療法人川島クリニック

- 理事長/川島 周

■川島病院

- 名誉院長/島 健二 ●院長/水口 潤 ●副院長/炭谷晴雄、土田健司 ●循環器科部長/深田義夫 ●糖尿病科部長/小松まち子
- 放射線科部長/日下まき ●歯科診療部長/板東高志 ●医長/中村雅将 ●医員/吉川和寛、佐々木正充、横田成司、横田 綾、矢野敏史

■川島循環器クリニック

- 院長/西内 健 ●副院長/木村建彦 ●医員/橋詰俊二

■鴨島川島クリニック

- 院長/水口 隆

■鳴門川島クリニック

- 院長/林 郁郎

■部署別責任者一覧

- 事務長/片山幸代 ●看護副部長/南 幸、大下千鶴 ●臨床工学技士室長/田尾知浩 ●放射線室長/久米恵司
- 管理栄養室長/浜田久代 ●薬局主任/志内敏郎 ●検査室主任/島野 誠 ●リハビリ室主任/大石晃久

「看護師からみた全自動コントロールの有用性」借行会透析セミナー2007、名古屋、10/21

■浜田久代

「PDの食事療法」徳島PD(腹膜透析)ネットワークセミナー、徳島市、7/22

「生活習慣病を防ぐ食事」あすか家族介護教室、徳島市、11/12

■大石晃久

「リハビリの改定について」家族介護教室、徳島市、6/11

「家庭でできるリハビリ～上手な介助方法について～」リハビリ講座、徳島市、10/24

■山形篤史

「保険・諸手続き」徳島PD(腹膜透析)ネットワークセミナー、徳島市、7/22

◎座長・司会等(2007年1月～12月)

■島 健二

医師会生涯教育シリーズ(徳島)1月16日 座長

医師会生涯教育シリーズ(徳島)3月9日 座長

食後高血糖フォーラム2007in Tokushima(徳島)4月26日 座長

■水口 潤

第23回日本工学治療学会(大阪)2月11日 座長

第52回日本透析医学会学術集会シンポジウム(大阪)6月16日 司会

第52回日本透析医学会学術集会ランチョンセミナー(大阪)6月16日 司会

ネスブ発売記念講演会(徳島)9月29日 司会

第11回アクセス研究会シンポジウム(千葉)10月12日 司会

第13回日本腹膜透析研究会大会ランチョンセミナー(広島)11月24日 司会

第13回日本腹膜透析研究会大会教育講演(広島)11月25日 司会

■西内 健

第2回腎と心・血管フォーラム(徳島)2月15日 司会

徳島県Hypertension Leaders' Meeting(徳島)4月11日 司会

第4回徳島肺梗塞研究会(徳島)4月27日 座長

学術講演会(徳島)7月4日 座長

■水口 隆

第5回徳島臨床透析セミナー(徳島)1月30日 司会

■土田健司

6th World Congress of the International Society for Apheresis(ISFA)3月3日 座長

第12回VAIVT研究会3月10日 座長

第22回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会(東京)3月17日 座長

5th congress of vascular access society 6月12日 座長

第52回日本透析医学会学術集会(大阪)6月16日 座長

第9回アクセスセミナーin札幌(札幌)7月8日 司会

第1回徳島腹膜透析支援ネットセミナー(徳島)7月22日 司会

第1回PDネットセミナー(徳島)7月22日 司会

第13回日本HDF研究会(大分)9月9日 司会

第41回四国透析療法研究会(徳島)10月7日 司会

第38回徳島透析療法研究会(徳島)11月18日 司会

3rd Asian Chapter Meeting ISPD 2007ランチョンセミナー(広島)11月24日 司会

3rd Asian Chapter Meeting ISPD 2007招請講演(広島)11月24日 司会

第13回日本腹膜透析研究会大会(広島)11月25日 司会

■西谷千代子

第52回日本透析医学会学術集会ポスターセッション(大阪)6月15日 座長

高井和子 第13回日本腹膜透析研究会(広島)11月25日 座長

三橋和義 第41回四国透析療法研究会(徳島)10月7日 座長

廣瀬大輔 第38回徳島透析療法研究会(徳島)11月18日 座長

道脇宏行 第41回四国透析療法研究会(徳島)10月7日 座長